

乳腺・内分泌外科、(旧:第一外科 乳腺甲状腺グループ)に通院中の患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 術前トラスツズマブ＋細胞障害性抗癌薬の併用療法後に病理組織学的完全奏効(乳房)の得られた症例の予後に関する調査研究

[研究機関] 北海道大学病院乳腺・内分泌外科

[研究責任者] 細田 充主(乳腺・内分泌外科 助教)

[研究の目的] 術前にトラスツズマブ(商品名:ハーセプチン)と細胞障害性抗癌薬(商品名:タキソテールなど)との併用療法おこなった^{HER2}陽性乳がん患者さんにおける治療効果と治療後の経過との関連性を調査すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2001年1月1日から2010年12月31日の間に、^{HER2}陽性乳がんと診断され、術前にトラスツズマブ(商品名:ハーセプチン)を含む治療を受けた女性患者さん

●利用するカルテ情報

生年月、身長・体重、既往歴、病理所見、術前・術後の治療内容、手術に関する情報、転移や再発があったかどうかなどの治療後の経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院乳腺・内分泌外科 担当医師 細田 充主

電話 011-706-7381 FAX 011-706-7384